



# ハカル ワカル 広場 だより

八王子市民放射能測定室 第 27 号  
2018. 11. 20発行

発行元 八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場  
〒192-0053 八王子市八幡町 5-11 八中ビル2F

HP <http://hachisoku.org> ✉ [hachisoku@gmail.com](mailto:hachisoku@gmail.com) ☎ 042-686-0820

郵便振替口座:00180-8-290904 八王子市民放射能測定室



## 福島原発事故を風化させないために

八王子中央診療所 医師 山田 真

このところ、高木仁三郎さんが 1986 年当時書かれたものを読み返しています。高木さんは核化学を専門とする物理学者で、政府の原子力政策に対し提言を行うため、原子力資料情報室を立ち上げた人です。2000 年に亡くなりましたが、ご存命中ばくも接したことがあります。その高木さんが 1986 年、チェルノブイリ事故が起こって衝撃を受け、「同じような事故は日本でも起こり得る」と日記に書いています。そしてどんな事故になるか具体的な予測をしているのですが、それは 2011 年の福島原発事故をシミュレーションしたようなもので、高木さんの警告をばくたちがきちんと受けとめて反原発運動ができていたら、福島の惨事は防げていたのではないかと思うのです。

そして、福島の惨事が起こって 7 年余の今、また福島のことも忘れ去られそうになっています。いつまた原発事故が起こるかもわからないのに、身を守ることも考えられていないようです。

原発で大事故が起こったら身を守ることも困難ですが、いくらかできることはあります。例えば安定ヨウ素剤を持っていれば、甲状腺を守ることができます。ですから、安定ヨウ素剤は原発が存在する国に住む人は必ず持っているべきものです。安定ヨウ素剤は事故が起こったらすぐにのまなくては いけませんから、いつも財布などに入れて身につけていなければなりません。それでばくは、フォトジャーナリストの広河隆一さんに協力して安定ヨウ素剤の無料配布会を行ってきました。そしてこのたび八王子でも行うことができました。特に放射線の影響を受けやすい子どもを守るためにも、どの家庭でもヨウ素剤を用意して下さい。



## 「安定ヨウ素剤配布会実施報告」

ハカルワカル広場共同代表 西田照子

11月10日、ハカルワカル広場安定ヨウ素剤配布会を実施した。八王子中央診療所の小児科医である山田真先生から安定ヨウ素剤の無償提供を受けてのことである。きっかけは、山田先生がフォトジャーナリスト広河隆一さんの「DAYS 救援アクション」に協力され、武蔵境で「安定ヨウ素剤自主配布プロジェクト in 東京」をされた折、そこでの山田先生のお話に感銘を受けたことだった。「ぜひ、ハカルワカル広場でもやりたい」と思った。

「子どもたちを放射能の内部被ばくから守りたい」を活動の目標としているハカルワカル広場にとって、それはどうしてもやりたいことだったし、山田先生はハカルワカル広場が借りているビルの1階に診療所を開設されているのだから。

けれども配布会は初めての経験。問診票を参加家族から集めるのも苦労したし、狭いハカルワカル広場に子供連れの家族約50人が入れるだろうか？（2回で100人！）子供を安全に見守れるだろうか？など心配は尽きなかった。しかし、事務局を中心に実行委員会を立ち上げ、ボランティア13人の協力で、受け付け、誘導、子供見守り、配布と分担して乗り切ることができた。

1時に10家族、2時半に20家族が参加。山田先生のお話が始まると、静まり返った。「いまこの瞬間にも地震がおきたらどうなるか？福島で事故で首都圏が壊滅まで行かなかったのは運が良かった。国や行政はほとんど事故への対応策がない。ヨーロッパではチェルノブイリ以降、各家庭にヨウ素剤を備えている（日本ではむしろヨウ素剤入手を妨害しているようだ）。危ないと思ったら安定ヨウ素剤で甲状腺を飽和することが大事。事故が起きたら、とにかくすぐに飲んで。実際には大丈夫だったとわかっていても、飲んだことによるマイナスは特にない。副作用もほとんどゼロ。10錠あれば家族全員足ります。」

山田先生の「これは福島を忘れないための運動。だからもらって安心でなく、行政に働きかけるなどの動きをしてほしい。そして原発をなくす運動をしながら、原発が世界にある限り、自衛手段としてヨウ素剤を持ってほしい。」との願いがにじむお話しだった。ボランティアとして、安達美菜医師、平野敏夫医師も問診、触診に協力してくださった。配布までスムーズに進行、無事終了。

アンケートには、「山田先生の活動など聞いて良かったです。」「原発について身を守ることにについて考える機会になった。」「ヨウ素剤を国がストップしているという状況、怖いのと同時に憤りを感じます。」「政府が話をしていない事等、一度調べてみようと思いました。」「ハカルワカル広場の子どもを守るという意志を感じました。」などあり、ほぼ全員が「配布会はよかった」、そして18人がハカルワカルからの連絡を希望。

ささやかな配布会への協力であったが、山田先生の蒔かれた種はきっと芽が出ると信じている。



## 話してきて良かった 甲状腺癌→すい臓・前立腺癌疑い

福島市在住 『ふあーむ庄野』編集者 大越 良二

### 3つの癌にうろたえる

「すい臓腫瘍が尾部に小さいが見つかりました。嚢胞性腫瘍のようで、10×13 mmです。CTやMRI検査のできる病院で診てもらってください。」

私は2016年12月に甲状腺がん手術以来約1年9ヵ月、今年8月4日、震災後5回目の健康診断を受けました。まさか、すい臓がんが発見されるとは考えてもみませんでした。早速県立医科大へ紹介状を依頼。後日、血液検査の結果も判明し、「昨年はないが、前立腺がん疑いもありましたよ」と知らされました。甲状腺がんを含め、3つのがんを持つことになり、うろたえました。

すい臓がんをネットで調べると、容易ながんではないことが見えてきました。ほとんど初期に発見されることはなく、発見された時はステージ3か4の末期。手術に入れば退院することなく、死を迎える人も。再発率が90%と高い確率。とても初期だ、などと安心できません。

### 延べ11日、6泊入院検査

医大の検査はすい臓がん、前立腺がん、そして甲状腺がんの検診を含め3つ。甲状腺がんの主治医から「大変なようだね」と同情されるほど。8月から9月にかけて、CT、MRI、内視鏡検査、超音波内視鏡下生検、エコーなど延べ7日、4泊5日の入院。絶食は3日に及びました。引き続き前立腺がんは3日間の入院検査が続きました。

入院手続きは大変な混みようで、50人位は窓口に並んでいました。近所に住む義叔父さん（郵便労働者）も見えていました。昨年10月すい臓がんが発見され手術。しかし、また腹痛が続いていると言う。甲状腺がんも医大の調査では震災前の4倍にもなっているが、甲状腺がんだけでなく、様々な疾病に県民は脅かされていると実感。

3日目、内視鏡生検の日の未明、腫瘍があると自覚し、家族に早朝「今日、すい臓がんの有無が分かるから来てほしい」と連絡。結局、主治医から結果を伺い、悪性腫瘍はありませんでした。その夜、妻は安心したのか深い眠りに・・・。

### 「こんな病気なかったなあ」

地域でも『ふあーむ庄野』で知る人は話しかけてきました。「近所のKさんはみるみる内に顔が黄色くなった。病院から退院後話したが、何の病気か言わないんだよ。」とか、「黄だんだんと思って町医者で治療。治らないんで医大へ。膵臓がんだったらしい。怖い話だ」と、周囲の人々の状況を知らせてくれる読者。

また、遠い友人や先輩から見舞いの電話あり。Mさんとは小児甲状腺がんについてかねて意見の違いがあったが『ふあーむ庄野』は届けていた。このMさんが「すい臓がんどうした？」と電話をくれ、「ああ、よかったねえ。友人の奥さんもすい臓がん初期で発見され手術したがその後やはりだめだった（再発）。おれはすい臓がんになったら絶対手術しないよ。姉も急性骨髄炎性白血病で亡くなった。檜葉や富岡でも同白血病に罹っている。今までこんな病気なかったなあ。」と、放射能影響を考え始めているようだ。

### 知事選で健康影響を争点に

私は甲状腺がんとすい臓がん疑いの体験を『ふあーむ庄野』で周囲に広げたことから、友人、親戚、地域の方から声も寄せられ、終末期を迎えながらも共に生きていることの大切さと原発影響への関心の高さを学びました。また、周囲の人々の状態を変化している情勢として見ることができました。

知事選では「今は声を上げる時ではない」や「甲状腺がんが放射能の影響だ、と言われたら福島の子供たちは可哀想だ。就職や結婚など差別される」と広島『空白の十年 被爆者の苦闘』（広島県被団協）を忘れたかのような意見が横行している。

小児甲状腺がんを典型に、健康被害はあきらかに増加を示し、それをひた隠しにしている国と県の姿勢は多くの県民の前に暴露されています。この健康影響こそ県民の関心の焦点です。



## 測定結果 (2018 年 8 月～2018 年 10 月)

ゼオライトの測定値は初期値引き算前 (Cs134 の初期値は 30Bq/kg 程度)

検体	採取	県名	産地・採取地	検体重量(g)	測定容器(cc)	Cs137 (Bq/kg)	95%範囲 (±Bq/kg)	Cs134 (Bq/kg)	95%範囲 (±Bq/kg)	備考
腐葉土	2018. 10. 10	福島県	川内村	168	1000	9620. 0	1920. 0	1000. 0	200. 0	川内村 1
腐葉土	2018. 10. 10	福島県	川内村	257	1000	7520. 0	1500. 0	792. 0	158. 0	川内村 2
苔付きの土	2018. 10. 3	東京都	八王子市八幡町	692	1000	3740. 0	750. 0	384. 0	77. 0	
土	2018. 10. 10	福島県	川内村	718	1000	2920. 0	580. 0	324. 0	65. 0	川内村 3
土	2018. 9. 29	東京都	東京都葛飾区	627	1000	975. 0	195. 0	107. 0	22. 0	定点観測
土	2018. 8. 27 採取	東京都	八王子市横川町	979	1000	550. 0	3. 9	87. 1	3. 8	
側溝の土	2018. 10. 23	東京都	八王子市横川町	756	1000	479. 0	96. 0	75. 3	16. 0	
側溝の土	2018. 1	東京都	八王子市絹ヶ丘	1209	1000	256. 0	51. 0	50. 0	10. 0	
土	2018. 8. 27 採取	東京都	八王子市横川町	946	1000	213. 0	4. 1	40. 2	9. 0	
ゼオライト	2018. 9	東京都	八王子市館町	1020	1000	193. 0	39. 0	52. 8	11. 3	館町 E
土	2018. 7. 7	埼玉県	松山市公園	600	1000	161. 0	32. 0	22. 9	6. 5	定点観測
土	2018. 7. 6	東京都	練馬区公園	798	1000	124. 0	25. 0	22. 1	5. 7	定点観測
ゼオライト	2018. 1	東京都	八王子市小比企町	1104	1000	121. 0	24. 0	40. 5	8. 9	小比企町 B
ゼオライト	2018. 10. 27	東京都	昭島市	1145	1000	111. 0	22. 0	44. 4	9. 6	昭島 B
苔(土混じり)	2018. 7	東京都	八王子市打越町	645	1000	93. 6	19. 6	12. 0	4. 8	
土	2018. 10. 23	東京都	八王子市横川町	735	1000	84. 0	17. 9	26. 1	6. 7	
鶏ふん	2018. 6～7	東京都	八王子市館町	166	500	75. 0	28. 9	39. 0	以下不検出	
ゼオライト	2018. 10.	静岡県	御前崎市	910	1000	48. 6	11. 3	42. 4	9. 6	御前崎 A
ゼオライト	2018. 10. 14	東京都	八王子市長房町	1042	1000	45. 6	10. 4	34. 0	7. 7	長房町 A
土	2018. 7	東京都	八王子市元横山	1330	1000	40. 4	9. 0	22. 8	5. 4	土壌プロ
ゼオライト	2018. 9	東京都	八王子市館町	899	1000	36. 2	9. 1	44. 5	10. 0	館町 B
ゼオライト	2018. 10.	静岡県	御前崎市	917	1000	30. 4	8. 0	43. 0	9. 7	御前崎 B
ゼオライト	2018. 8. 14	静岡県	御前崎市	1059	1000	28. 3	7. 2	37. 0	8. 3	御前崎 D
ゼオライト	2018. 9	東京都	八王子市館町	909	1000	28. 0	7. 6	41. 7	9. 4	館町 C
ゼオライト	2018. 8	東京都	八王子市長房町	1044	1000	25. 9	6. 9	41. 1	9. 1	長房 A
ゼオライト	2018. 9	東京都	八王子市館町	792	1000	25. 3	7. 6	43. 7	10. 0	館町 F
ゼオライト	2018. 8. 14	静岡県	御前崎市	1059	1000	20. 7	5. 9	33. 6	7. 6	御前崎 C
ゼオライト	2018. 1	東京都	八王子市高尾町	1029	1000	18. 7	5. 6	29. 5	6. 9	高尾町 A
ゼオライト	2018. 9	東京都	八王子市館町	902	1000	17. 0	5. 9	36. 1	8. 4	館町 A
ゼオライト	2018. 9	東京都	八王子市館町	1050	1000	14. 6	5. 1	33. 4	7. 7	館町 D
ゼオライト	2018. 1	東京都	八王子市八日町	1148	1000	13. 7	4. 8	31. 2	7. 1	八日町 A
ゼオライト	2018. 9. 14	東京都	八王子市横川町	1051	1000	12. 3	4. 8	32. 2	7. 4	横川町 A
ゼオライト	2018. 7. 8～8. 7	東京都	八王子市横川町	1213	1000	11. 8	4. 3	27. 3	6. 3	横川町 A
ゼオライト	2018. 1	東京都	八王子市横川町	1020	1000	11. 5	4. 8	35. 4	8. 0	横川町 A
ゼオライト	2018. 9. 14	東京都	八王子市高尾町	1051	1000	11. 5	4. 7	33. 6	7. 6	高尾町 A
ゼオライト	2018. 9. 28	東京都	八王子市寺町	1060	1000	11. 3	4. 6	30. 1	7. 0	寺町 A
ゼオライト	2018. 10. 14	東京都	八王子市北野台	1112	1000	4. 4	4. 1	34. 3	7. 8	北野台 A
ゼオライト	2018. 7. 8～8. 7	東京都	八王子市高尾町	1147	1000	4. 2	3. 7	28. 8	6. 6	高尾町 A

ゼオライトの測定結果は、HP の「ゼオライト地点コード表」にてご覧いただけます。



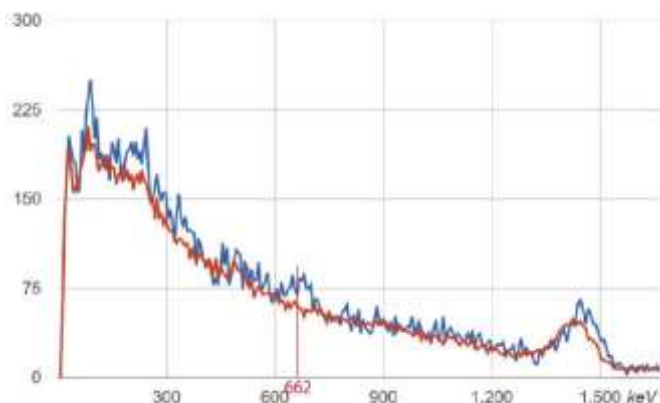
# ハカってワかった話

二宮 志郎

## 鶏糞からセシウム 137

9月6日の測定で鶏糞からセシウム 137 が検出されています。Cs137 が 75Bq/kg、Cs134 が不検出、検体重量は 166g しかなかったため、Cs137 の検出誤差は 29Bq/kg と 30%を越えています。スペクトルが以下です。

Gamma Spectrum - 18090601:100cc, 166g, 鶏ふん (2018年6~7月採取)



赤線のバックグラウンドに対して青線が鶏糞の測定スペクトルで、マークを入れた 662keV の Cs137 の存在を示す部分の盛り上がりは明らかで、Cs137 は誤検出ではなく、確実に検出されていることを示しています。

この鶏は八王子市の野外放し飼いで、野草などを常についばみながら育てている健康的な鶏だということです。その土は Cs137 が 100Bq/kg で汚染されているようです。

いくら野草を食べているとは言っても、100Bq/kg の土壌で野草の葉や根に出てくる Cs137 はほとんどないのが普通で、その鶏糞にこれだけ出てくるのは少し疑問です。

## 鶏は砂を食べる

焼き鳥には「砂肝」というのがありますが、鶏は小さな砂粒を食べてこの砂肝に送り込んで、そこで食物を擦り碎きます。歯のある生き物が口で噛み砕くことをそこでやっているのです。砂肝の砂はすり減ってくるので、随時排出して新しいものを食べて補給します。

と、その程度のことは少し調べてすぐわかったのですが、はたしてどのくらいの砂が糞に混じって排出されるのか。こういう疑問になると、なかなか調べがつかいません。

他に採取時の条件なども正確にはわからないので、少し推測で話を進めます。

砂粒に関して、どんなにたくさん排泄しているとしても、鶏糞の 10%もの量になるとは考えにくいので、仮に 10%と考えると、汚染されている砂粒が混じっている影響で 10Bq/kg 程度は出てきても不思議ではないと言えます。

さらに鶏糞を採取するさいに混じりこんだ土が 10%程度はあると考えると、さらに 10Bq/kg 程度あると考えられます。合計で 20Bq/kg 程度まではありえることとなります。

75Bq/kg の測定値の誤差が激しいので、実際には 50Bq/kg 程度だったとしても、まだ説明のつきにくい大きな数値ということが言えます。

## 一例だけなので結論は？

「ひょっとしたら鶏が口に入れる砂粒は表土の高い放射能レベルの部分ではないか」とか、いろいろ推測してみるのはできるのですが、そこから結論を導くにはあまりにも根拠が弱く、今回の大きな測定値が出てしまった鶏糞に関しては結論ははっきりしない？のままにせざるを得ません。

一般に公開されているデータの中に鶏糞を測っている例はないかといういろいろ調べてみたのですが、なぜか鶏糞のようなものはあまり注目されたことがないようで、測定例も見つかりませんでした。

時々こういう謎のような測定結果が出る場合がありますが、極力先入観を排除して、周辺環境、測定環境、測定結果、そういう客観的事実の積み上げだけで判断を出すように心がけています。もちろん測定ミスということが入り込む余地も考慮に入れます。

測定例が一例しかない場合、そこで謎が残るのは当然とも言えることで、ここは「わからない」で保留にしておいて、これから先の測定結果と合わせてまた考えることにします。





# エンハンスメントと新たな優生思想

ボランティア 小林 直美

私は上智大学の社会人講座で臨床倫理の授業を受けました。その中で印象に残った内容が、「エンハンスメントと新たな優生思想」でした。エンハンスメントとは人体増強のことで、病気からの健康の回復と維持という目的を超えて、健康な人がより良く、強くなるために医療の力を使うことです。身近な例では、サプリメントの使用や美容整形手術などです。

さらに近年では、iPS 細胞が注目され、難病や遺伝病への再生医療の利用が期待されています。しかし、エンハンスメントである、不老の夢の技術としてアンチエイジングや卵子や精子を作る生殖医療に利用されるようになるかもしれません。生命操作のテクノロジーが進み、人に対してどんどん使っていくと、本来、自然や神の領域であった生命のコントロールが出来ることになってしまうかもしれません。

また、私にとって身近な例は、2012 年から、新たな出生前診断が始まっていることです。大学病院など、遺伝カウンセリングができる、一部の医療機関ですが、妊婦の採血のみで、胎児のダウン症などの遺伝情報を判定するものです。新たな出生前診断が始まり、1 年半で陽性判定の 95%が人工妊娠中絶をしているという報告もあります。

かつては、国の政策によって行われてきた「優生思想」が、現代ではテクノロジーによって、表向きは「個人の自由選択」として、命の選択がすすむかもしれません。しかし、その研究・資本・制度化は、国家政策によりされているという背景があります。多くの人が「より優れた資質」の子を望めば、価値観の画一化が進んでいきます。計画や期待にそわない子への不寛容や、障がいへの偏見、排除へとつながる可能性もあります。このように、現代では個人の判断と責任で行われていく「内なる優生思想」がテクノロジーの利用により進んでいく恐れがあります。その先には、不寛容で画一的な、生きづらい社会が出来上がるのではないのでしょうか。

技術があるから使うのではなく、技術を使った未来がどのような社会になるのかを想像し、技術を使わない判断もできる社会が求められていると思います。



## 新出生前診断、一般診療に 臨床研究終了、施設拡大へ

産科婦人科学会

妊婦の血液で胎児の染色体異常を調べる新出生前診断について、日本産科婦人科学会は三日、全国約九十の認定医療機関で実施している臨床研究を終了し、一般診療とすることを決めた。当面、今の認定施設でのみ継続して実施するが、病院側の申請がしやすくなり、徐々に認定施設が増える可能性があるとしている。保険は適用されず、受診者の負担は約二十万円と臨床研究の時と変わらない。

新出生前診断は中絶につながりかねないため、学会は指針で遺伝カウンセリングを行うなどの要件を定め、認定施設のみで実施を認めていた。だが一部の民間クリニックがルールを守らずに実施している実態があるほか、地域間の差もあることから、指針の下で施設拡大を求める声があった。一方、ダウン症の疑いの団体からは「社会全体で議論すべきことだ」などと反発する意見も出ている。

指針では、診断が認められる対象はダウン症、13および18トリソミーの三つ。受診できるのは二十五歳以上や、過去に染色体異常のある赤ちゃんを出産した妊婦などに限定している。

学会は一般診療に移行後もこの指針を使い、要件の緩和は行わない。ただ臨床研究の詳細な計画書の提出や倫理委員会の審査が必要なくなるため、準備の負担が減り、小さなクリニックでも実施が可能になる。

新出生前診断は、臨床研究として二〇一三年に開始。妊婦のおなかに針を刺す羊水検査と違い、母体への負担が少ない採血で検査が可能なることから、希望する妊婦が増加。実施医療機関は当初十五だったが昨年十二月には八十九に増えた。

研究チームによると、昨年九月までに受診した妊婦の総数は約五万一千人。陽性判定が出た九百二十三人のうち、七百八十一人が羊水検査を受け、異常が確定した人の約九割が人工妊娠中絶を選んだ。一方、正常と判明した妊婦は八十一人いた。

新出生前診断 妊婦の血液を採取し、そこに含まれる胎児のDNAを分析することで、ダウン症などの染色体異常を調べる検査。日本産科婦人科学会の指針に基づきカウンセリング体制などが整っている認定された医療機関で、2013年から臨床研究として実施されている。費用は自己負担で約20万円。母体血清マーカー検査など従来の出生前診断より早い妊娠10週から検査が可能で精度も高いが、確定診断には羊水検査が必要。

### 新出生前診断の臨床研究の結果

検査実施	5万1139人
陰性 (染色体異常なし)	933人
陽性	781人
確定診断 (羊水検査など)	781人
異常なし	81人
異常あり	700人
中絶	654人

※2013年4月～17年9月

2018年3月4日 東京新聞朝刊 (共同通信配信)



書評『今こそ原発の廃止を——日本のカトリック教会の問いかけ』  
2016/10/5 日本カトリック司教協議会『今こそ原発の廃止を』編纂委員会

ボランティア 鶺鴒 暁

2011年11月、同年3月に発生した福島原発事故を受け、日本カトリック司教団は「いますぐ原発の廃止を～福島第一原発事故という悲劇的な災害を前にして～」というメッセージを発信し、宗教者としての立場から、原発廃止を呼びかける行動をとった。本書は、その科学的、哲学的、神学的裏づけを成す書として、原発廃止メッセージ発表から5年後の2016年に編纂・出版されたものである。

福島原発事故発生から今年で7年。事故の当事国であるにもかかわらず、日本において原発事故の記憶は遠いものとなり、2020年夏に東京で開催される予定のオリンピックに社会の関心は移っていると言わざるを得ない。原発事故の記憶を風化させないという意味でも、本書の持つ意味は非常に大きい。

本書は全3部から構成されている。第1部では「核技術」の持つ歴史的・社会的問題を扱い、広島、長崎での原爆投下からチェルノブイリ原発事故、そして福島原発事故までを時系列で説明している。特筆すべきは、あまり語られてこなかった労働者の被曝について取り上げていることで、核技術の影には必ず犠牲にされる弱い立場の人達がいるという問題点を提起している。

第2部では「核技術」を科学技術的な観点から取り上げ、放射線とは何か、原発とはどのように動き、どのような問題点があるかを丁寧に説明している。原発の事を学んだことのある人にとっては、既知の内容であるかもしれないが、心の問題を扱う宗教者が科学的な面から原発が抱える問題点を説明していることは評価に値する。

そして、本書の中心である第3部では、キリスト教の視点から、「核技術」の持つ倫理的な問題を取り上げている。ここでは、2015年5月に教皇フランシスコが公布した回勅『ラウダート・シ』(注)の内容が紹介され、この回勅そのものが直接原発問題を語っているわけではないものの、そのメッセージが持つ全人類の道徳性から判断しても、原発の廃止は容易に結論づけられるとしている。

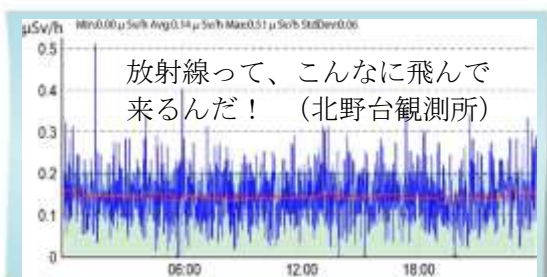
ドイツやイタリアは、福島原発事故をきっかけに国民の意志で原発を廃止する政治的決断をした。日本が、福島原発事故をきっかけに原発廃止の決断を出来るかどうかは本書によって問われている。

(注)「ラウダート・シ」: 2015年に発表された環境問題についての回勅(教皇が信徒に直接語りかける書簡)。「社会的に弱い立場に追いやられた人々と、脆弱な自然環境の間には密接なつながりがあって、両者は同時に傷つけられていく」としている。

「風が吹けば桶屋が儲かる」仮にそんなことがあっても、「風が吹かねば桶屋が倒れる」ということはない。(nai)



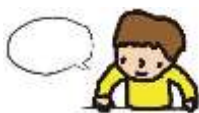
退職後にのんびりと生活していた私に劇的な変化をもたらしたのは東日本大震災後の原発の爆発でした。測定室の立ち上げから関わり、もう7年になります。政府の言うことは信用できない。私達自身で真実を突き止めるために頑張らましよう。(マコハンド)



つぶやき

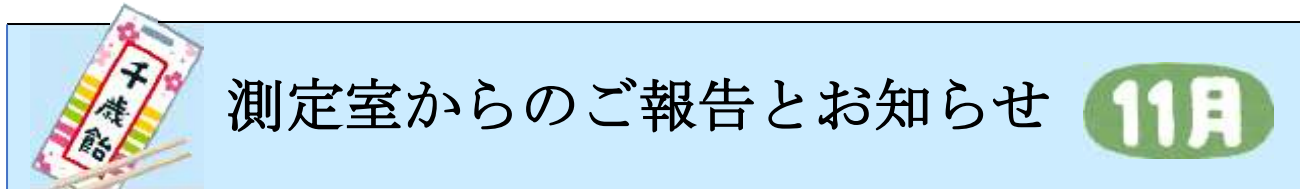
若松丈太郎の一篇の詩「1978年11月2日/…/福島第1原子力発電所3号炉/压力容器の水圧試験中に制御棒5本脱落/日本最初の臨界状態が7時間30分もつづく/…」この言葉の真実と、「原発は安全です」の嘘! 同じ言葉なのになぜこの乖離?(首かしげるハテナちゃん)

私たちは大きな壁にぶつかって無力を感じる場合があります。そんなとき私はスイミーの話を思い出します。そして思います。固く大きく見える壁も実はスイミーなのではないかと。どこか崩れれば崩壊は早い。(k.k)



秋深し、お鍋がおいしい季節になりました。湯豆腐、水炊き、おでん、チゲ鍋、すき焼き、、グウウ。(秋月)

次号のつぶやき募集中! メール、郵送、BBSでご投稿を。お待ちしております♪



## 測定室からのご報告とお知らせ

# 11月

### \*9月1日(土) 定例お茶会「原発輸出を考える」

まずレポーターの鶴飼さんから原発輸出の問題点が提起された。「福島原発事故が収束していないのに、他国に原発を売ることの倫理的問題が少しも問われないことが最大の問題」と。現在進められている日立によるイギリス、アングルシー島への原発輸出。政府系銀行のJBIC、政府系保険会社のNEXIなどの支援を受け、公的資金での輸出。イギリスでも風力発電などの再生エネルギーのコストは下がっており、原発のコストの約半額。差額はイギリス国民の負担となる。さらに、ベトナムへの原発輸出を描いたドキュメンタリーを上映。いかに原発産業が市民を欺いているかを見ることができた。会場からため息が漏れた。(参加者 18 名)

### \*10月6日(土) 定例お茶会+第19回ハカルワカル広場上映会「原発の町を追われて」

福島原発事故により全戸に避難勧告が出され、日本初の原発難民となった双葉町の方たちを描いたドキュメンタリー作品。双葉町の町民は埼玉県の廃校になった高校で避難生活を始める。故郷を離れての過酷な生活の中で洩らされる本音を堀切さとみ監督が聞き取っていく。1部から3部までの2時間10分、息をのんで見入りました。そしてなんと、その堀切監督が双葉町の方と一緒に来てくださったのです！この映画の持つ温かい視点、本音を語らせてしまう「聞く」に徹した姿勢—そのもののお人柄でした。堀切監督の登場で会場は盛り上がり、熱のある上映会になりました。最後に堀切監督と集合写真。みんな笑顔でした！(参加者 21 名)

### これからの予定

- \* 12月2日(日) 午後2時 北野市民センターホール 中村敦夫朗読劇「線量計が鳴る」公演会
- \* 1月12日(土) 定例お茶会 Our Planet TVの白石草さん講演会  
「福島の子どもの甲状腺がんについて」
- \* 2月2日(土) 定例お茶会 「上田紘治さん(被ばく者)と核兵器禁止条約を考える」

### ハカルワカル広場だより編集部からのお願い

つぶやき募集！ つぶやき投稿のはがきを同封しました。100字程度でつぶやいてご投函ください。匿名でOKです。会報へのご意見、ご提案もどうぞ！

## おしらせ

中村敦夫朗読劇「線量計が鳴る」公演会

お見逃しなく！ご参加ください！

とき：12月2日(日) 午後2時開演

場所：北野市民センターホール

前売り券：完売 当日券：2000円 先着順

当日券は、わずかしかないので

お早めにおいで下さい！



ハカルワカル広場は維持会員の会費とボランティアで運営されています。

八王子市民放射能測定室

## ハカルワカル広場

お電話 問合せ ☎192-0053 東京都八王子市八幡町5-11 八中ビル2F  
**042-686-0820**

HP: <http://hachisoku.org> メール: [hachisoku@gmail.com](mailto:hachisoku@gmail.com)

【開室】火～金曜日:10時～15時、土曜日:10時～12時

**ボランティア、維持会員募集中!**

お問い合わせはハカルワカル広場まで

寄付も大歓迎です! ゆうちょ銀行 00180-8-290904(八王子市民放射能測定室)  
他行からの振り込みは 018-0224460(八王子市民放射能測定室)